

柏崎市ゼロカーボンシティ推進方針(概要版)

柏崎市は、2020年12月に、国や県の目標である2050年を15年前倒した「2035年脱炭素社会実現に挑戦する」ことを表明しています。

脱炭素社会の実現により、地球温暖化対策だけでなく、地域経済を循環させ、産業の活性化や地域の魅力及び生活の質の向上に資することを目指し、柏崎市ゼロカーボンシティ推進方針を策定しました。

“柏崎市ゼロカーボンシティ推進方針”全編はこちら

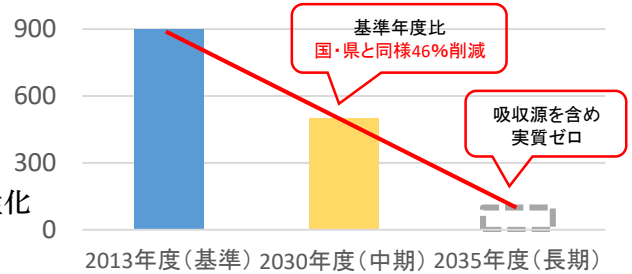


◆脱炭素社会の実現に向けた本市の目指すべき姿

地域特性を活用した脱炭素を達成し、
持続可能な力強い地域社会の実現を目指します。

- ◇ 地域社会のゼロエネルギー化
- ◇ 持続可能な力強い地域社会の実現
- ◇ 脱炭素を契機とした力強い産業へ成長
- ◇ 経済と環境の好循環(デカップリング)、
気候変動による影響の最小化、
災害等への適応力(レジリエンス)強化、地域経済の活性化

《温室効果ガス排出量の削減目標》



◆脱炭素に向けた取り組みの方向性

推進方針は、脱炭素のまちを実現させるため、柏崎市が取り組むべき事業を整理し、温室効果ガスを排出する4つの部門に分けて政策・施策の方向性を示したものです。

◇産業部門

- ・地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー(株)」を事業拡大させ、脱炭素エネルギーを地元だけでなく首都圏へ送電し、エネルギー拠点へ
- ・次世代エネルギーの産業化による就労機会の確保

◇民生(家庭・業務)部門

- ・一般住宅のZEH化、COOL CHOICE運動及びCO₂を貯蔵する地元産木材の利用促進
- ・公共施設の再生可能エネルギー設備の導入による災害時のエネルギー拠点化



◇運輸部門

- ・電動車割合の大幅増加
- ・EV及びFCVの充電・充填インフラの整備
- ・電動車の蓄電機能を活用したレジリエンスの強化



◇エネルギー供給・転換部門

- ・地産地消の再生可能エネルギー導入拡大
- ・地域内エネルギーマネジメントシステムの導入促進、合成燃料活用の検討
- ・水素の利活用や水力・地熱等を含めた再生可能エネルギーの導入促進

柏崎市ゼロカーボンシティ推進ロードマップ

